

4. 課程認定を受けている課程を有する学科等の各段階における到達目標

<地域環境科学部造園科学科>（認定課程：中一種免（理科）・高一種免（理科））

（1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	情報基礎(一)、スポーツレクリエーションなどの科目を必修として、生物、化学、地学を主科目として、造園教育の特殊性、自然科学の摂理について学ぶための素養を身につける。
	後期	スポーツレクリエーション、地球環境と炭素循環、植物の生活と活用の科目を主科目として、物理学などを併せて履修することで、理科教育、造園教育の特殊性について学ぶための素養を身につける。
2年次	前期	社会科学と自然科学系の科目を履修することで、専門性の視点や捉え方を学び、問題の発見や物事の摂理を考えることができる視点を身に付ける。
	後期	日本国憲法、緑地生態学などの社会科学と自然科学系の科目を履修することで、専門性の視点や捉え方を学び、問題の発見や物事の摂理を考えることができる視点を身に付ける。
3年次	前期	社会科学や自然科学系の科目を履修することで、問題解決の方法を探る視点を養う。具体的には、調査や研究の視点と調査や研究の手法や方法を学習して、問題解決や専門性の進展に対する取り組みの方法などを身に付ける。高等学校における農業教育や理科教育に必要な指導法、中学校教員として必要な指導法を身に付ける。
	後期	自然保護論、樹木の保護と管理、緑地の生きもの、などの社会科学や自然科学系の科目を履修することで、問題解決の方法を探る視点を養う。具体的には、調査や研究の視点と調査や研究の手法や方法を学習して、問題解決や専門性の進展に対する取り組みの方法などを身に付ける。高等学校における農業教育や理科教育に必要な指導法、中学校教員として必要な指導法を身に付ける。
4年次	前期	専門特化演習(一)(植物学)などの演習科目を通して、実験や調査を進める手段やまとめを習得する。また、教育実習を行うことで、大学教育における専門性の知識・技術を再確認するとともに、教職の就業にかかわる特殊性の理解を深め、教員としての素養と資質を確認する。
	後期	理科教育にかかわる教育内容を実験や調査によって習得する。また、教育実習を行うことで、大学教育における専門性の知識・技術を再確認するとともに、教職の就業にかかわる特殊性の理解を深め、教員としての素養と資質を確認する。